

基本方針について

- ① 素案の取組について、すべてできれば素晴らしい学校になると思うが、そう簡単に取り組めるものではないと思うのでこの取り組みの問題点や乗り越えなければならない壁はどのようなものか示していただくとプロポーザルの際の参考になる。
- ② 教職員の負担が大きくなるよう働きやすさをいかに改革するかが課題の中で、具体的にどのように改善するのか。複合化施設の運営維持管理について地域と学校の責任区分の明確化が必要である。
- ③ 目標とする取組について、具体的にどんなスペースや設備があることを想定しているか明示してほしい。
- ④ 特別支援教室は将来的に増える可能性もある中で標準規模で設けている部屋数では少ないのではないか。

諸室の規模について

- ① 第4回資料3に記載ある標準諸室規模の特別教室・準備室12室はどのくらい特別教室（用途制限のない部屋）として使用可能なのか具体的に知りたい。
- ② 神明中でも最終的に署名を集めたこともあり、普通教室数は12クラスとなった。神明中より人数の多い西宮中で10（11）クラスで算定していくのはおかしい。推移は想定であり、何度もお伝えしているが学校施設整備計画の標準建物面積にこだわらず、現場の声をしっかり聞いたクラス数、個別指導の部屋数にしてほしい。

その他意見

- ① ユニバーサルデザイン・インクルーシブ教育を取り入れた施設づくりということですが、対象となる子供たち以外にも中学生という年代がセンシティブな年頃なのでそこに配慮した施設や動線を考えてほしい。
- ② 施設が充実したとしても、カウンセラーなど追加の人材確保が難しいとされている中で、人の問題をクリアできるのかが課題ではと感じた。
- ③ 学校とコミふらで協定書等により、管理運営責任を明文化することが持続可能な運営につながると思う。教職員、保護者、地域の方々がその内容を理解することも大切。なお、放課後の居場所でトラブルが発生すると、事業者が問題解決に向けた対応を行うが、問題が解決しない場合、保護者から学校に相談が入り、当事者へのヒアリング、指導など、学校が介入せざるを得ず、学校の負担となっている現状がある。そうならないよう、ハード面はもちろんのことソフト面を含めた管理運営責任のあり方について、関係所管課による検討を進めてほしい。
- ④ 子ども・教職員に心を寄せ、地域で子どもを育てようという素晴らしい地域の方々のご意見を伺い、きっと素晴らしい「学びのプラットフォーム」が実現すると思った。
- ⑤ コミュニティふらっとと教職員の仕事は別であるべき。そもそも教員がかかわるのはおかしいので、どこがどのように運営するのかははっきりすべき。
- ⑥ 個別対応する生徒が増えていくので教育相談室やカウンセラールーム等のスペースを増やせないか。現状は倉庫や生徒会室の部屋を借りたり支援部のスペースと共存したりしながら対応をしている。

